

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	環境啓発事業			事業開始年度	平成19年度		
担当課	市民生活部 生活環境課			担当者	高橋 岳陽		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	06	次代に引き継ぐ豊かな自然と環境				
	施策	01	次世代に継承する自然環境の保全				
	基本事業	01	環境保全活動の推進				
事業の目的	環境問題に関心をもってもらう。						
事業の概要	環境関連の諸問題について、イベント等でパネル展示・環境グッズやパンフレット等の配布・実験等を行い啓発活動を進める。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	259		133		316	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
	成果	イベント、講座受講者で環境問題に関心を持った人の割合	%	88	83	85	87
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明						
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	再生可能エネルギー利用機器設置費補助事業			事業開始年度	平成19年度		
担当課	市民生活部 生活環境課			担当者	高橋 岳陽		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	06	次代に引き継ぐ豊かな自然と環境				
	施策	01	次世代に継承する自然環境の保全				
	基本事業	02	CO2抑制と再生可能エネルギーの推進				
事業の目的	再生可能エネルギー利用機器の設置を推進することにより、再生可能エネルギーの普及を図る。						
事業の概要	地球温暖化防止対策の一環として、市民のクリーンエネルギー利用の支援のため、再生可能エネルギー利用機器の設置者に補助金を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	5,642		4,663		6,500	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
	成果	住宅用太陽光発電システム設置件数（累計）	件	738	796	881	966
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明						
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	地球温暖化対策実行計画策定事業			事業開始年度	平成21年度		
担当課	市民生活部 生活環境課		担当者	高橋 岳陽			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	06	次代に引き継ぐ豊かな自然と環境				
	施策	01	次世代に継承する自然環境の保全				
	基本事業	02	CO2抑制と再生可能エネルギーの推進				
事業の目的	市自らが率先して地球温暖化の防止に努め、市の事務事業により排出される温室効果ガスを削減する。						
事業の概要	「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、市の事務事業に係る地球温暖化防止のための実行計画（第2次）を定め、推進する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		0		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
	成果	温室効果ガス削減率	%	11.8	11.01	-2.4	-4.8
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	基準年度に営業を休止していたもとゆ温泉の営業再開や道の駅きつれがわのリニューアルなどの影響で、基準年度を大幅に超える温室効果ガスの排出につながり目標を達成できなかった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	林道維持管理事業		事業開始年度	平成26年度			
担当課	産業経済部 農政課		担当者	亀田 陽司			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	06	次代に引き継ぐ豊かな自然と環境				
	施策	01	次世代に継承する自然環境の保全				
	基本事業	03	緑地の保全・育成				
事業の目的	喜連川地区林道を道路維持管理することにより、安全に道路を利用してもらおう。とともに市の林業推進を図る						
事業の概要	喜連川地区林道金枝・軍沢線および早乙女・矢口線における道路維持管理費。草刈り・側溝清掃委託・修繕費等。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度	30年度	元年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	427	395	700			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
	活動	林道利用にあたっての維持管理に係る不具合件数	件	3	2	2	2
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	概ね例年同様の維持管理をし安全を確保することができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小	業務量	○拡大 ●現状 ○縮小			

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	みんなの元気な森づくり支援事業			事業開始年度	平成20年度		
担当課	産業経済部 農政課		担当者	亀田 陽司			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	06	次代に引き継ぐ豊かな自然と環境				
	施策	01	次世代に継承する自然環境の保全				
	基本事業	03	緑地の保全・育成				
事業の目的	森づくり活動団体への活動支援することにより、森林の大切さの理解促進と、みどり豊かな環境を将来に引き継ぐ						
事業の概要	県民税事業を活用し森づくり活動団体への活動支援。樹木名札設置、伐採講習会、森林整備等の事業実施、植樹、生育環境の保全・整備などの活動を実施している。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	350		200		200	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
	活動	森づくり活動団体への活動内容・件数	件	19	7	7	7
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	うじいえ自然に親しむ会、さくら市林業振興会の2団体で申請のあった元気な森づくり県民税事業について概ね実施計画（林業体験、樹木の名札の設置等）のとおり完了し補助金を交付した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	木の香る環境づくり支援事業			事業開始年度	平成22年度		
担当課	産業経済部 農政課		担当者	亀田 陽司			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	06	次代に引き継ぐ豊かな自然と環境				
	施策	01	次世代に継承する自然環境の保全				
	基本事業	03	緑地の保全・育成				
事業の目的	木の良さをアピールする。						
事業の概要	森づくり県民税事業を財源とし、県産木材を活用した木工教室を開催し、木の良さやぬくもり伝え、緑化や林業振興についての啓発を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	140		130		140	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
	活動	申込件数	件	52	24	18	18
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	ゆめ！さくら博での木工教室を実施。応募予定者数を満たすことができました。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	環境基本計画事業			事業開始年度	平成25年度		
担当課	市民生活部 生活環境課			担当者	高橋 岳陽		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	06	次代に引き継ぐ豊かな自然と環境				
	施策	01	次世代に継承する自然環境の保全				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	さくら市環境基本計画に基づく適切な進行管理をおこない、さくら市が目指すべき環境像を実現させる。						
事業の概要	計画に基づき環境関係の施策推進をする。なお、環境審議会、環境基本計画策定委員会等により環境基本計画の進行管理をおこなう。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	4,669		90		309	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
	成果	環境基本計画実績報告書の公表		1	1	1	1
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明						
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		